

第 158 期

年 次 報 告 書

2018年4月1日～2019年3月31日



証券コード：9355

株式会社 リンコー コーポレーション

リンコーグループ経営理念



目次

リンコーグループ経営理念／目次	1	トピックス	9
株主の皆様へ	2	株式の状況	11
当期の概況／当期連結業績ハイライト	3	会社の概要	12
業績の推移(連結)／次期の見通し(連結)	4	ホームページのご紹介	13
各事業の概況	5	株式についてのご案内	14
連結財務諸表	7		

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

株式会社リンコーコーポレーションの「第158期年次報告書」(2018年4月1日～2019年3月31日)をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

2018年度(第158期)におきましては、主力部門である運輸部門の貨物取扱量が伸長し、機械販売部門、ホテル事業部門、商品販売部門においても順調な業績推移となりました。また、運輸部門を中心に積極的な設備投資を実施し、2019年3月には、新潟東港地区に新設した危険品倉庫が本格稼働いたしました。

本年度につきましても、事業基盤のさらなる強化を目指して設備投資を継続的に実施いたします。新潟東港地区に一般倉庫2棟を新設し、倉庫の保管能力の増強を図ります。お客様のニーズを十分に把握し、積極的な営業展開を図り、皆様の期待に応えて参る所存でございます。

今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2019年6月

代表取締役社長

南波 秀憲

当期の概況

日本経済を振り返ると、当期は、雇用・所得環境の改善が続く中穏やかな回復基調を維持してきましたが、下半期になり中国経済の減速などから輸出や生産の一部に力強さを欠き、回復の動きに足踏みが見られました。

一方、新潟県内の経済は、総じて穏やかな回復の動きが広がり、当社企業グループの重要な事業拠点であります新潟港の貨物取扱量につきましても、一般貨物、コンテナ貨物ともに前期比で増加し、主力事業である運輸部門の増収増益をもたらしました。また、ホテル事業部門が引き続き好調であり、機械販売部門、商品販売部門も堅調に推移しました。

この結果、当期の当社企業グループの売上高は176億2千5百万円（前期比9.1%の増収）、営業利益は7億8千7百万円（前期比72.7%の増益）、経常利益は7億9千4百万円（前期比76.4%の増益）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は5億6千7百万円（前期比27.5%の増益）となりました。

当期連結業績ハイライト

売上高

17,625百万円

前期比 +9.1%

営業利益

787百万円

前期比 +72.7%

経常利益

794百万円

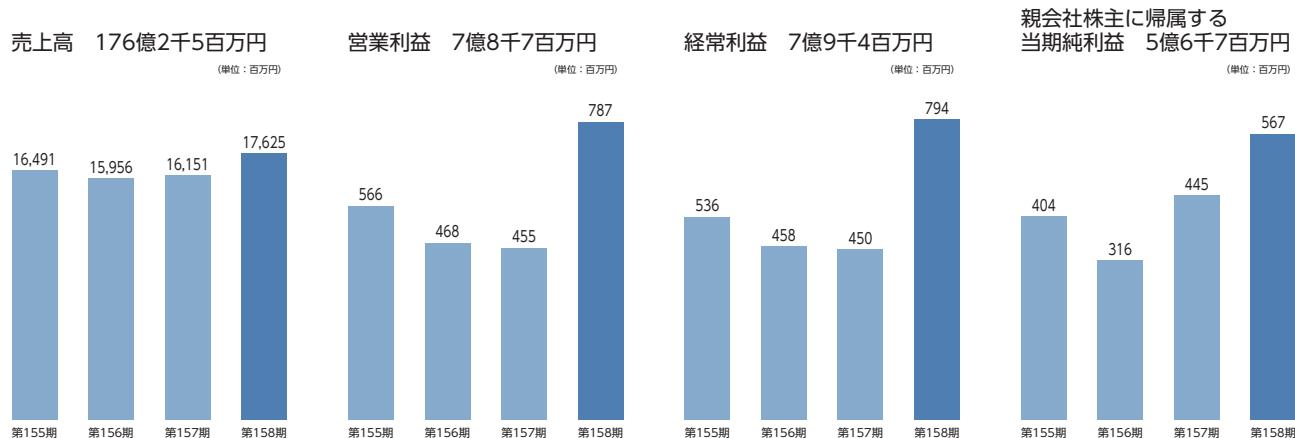
前期比 +76.4%

親会社株主に帰属
する当期純利益

567百万円

前期比 +27.5%

業績の推移 (連結)



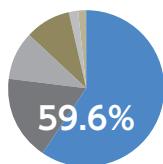
次期の見通し (連結)

次期の業績につきましては、機械販売部門、商品販売部門において、消費税増税等の影響から当期比で減収減益を見込んでおりますが、主力である運輸部門においては、当期に引き続き、堅調な荷動きが続くものと予想し、船内取扱数量はコンテナ貨物を中心に増加し、当期比で増収増益の見込みであります。また、ホテル事業部門においても、株式会社ホテル新潟が堅調に推移する見込みであります。

2020年3月期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
175億円	7億9千万円	7億9千5百万円	5億7千万円

各事業の概況

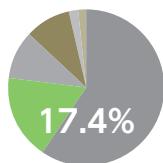
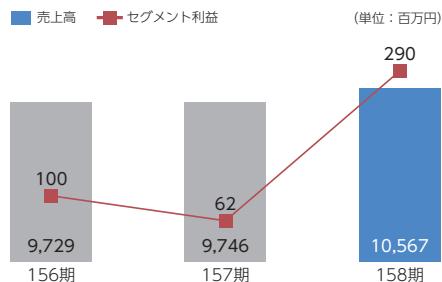


運輸部門

売上高 **10,567**百万円
セグメント利益 **290**百万円

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当期の貨物取扱量は、前期比11.6%増加の620万4千トンとなりました。このうち、コンテナ貨物については輸出入ともに堅調に推移し、前期比18.2%の増加となりました。また一般貨物は前期比3.3%の微増でありましたが、関連する附帯作業が増加したこともあり、収益向上に寄与いたしました。

この結果、同部門の売上高は105億6千7百万円（前期比8.4%の増収）となりました。経費面でも貨物取扱量の増加に伴い下払費が増加しましたが、労務や機械の稼働率上昇を背景に作業効率が向上したことから、同部門のセグメント利益は2億9千万円（前期比366.6%の増益）となりました。

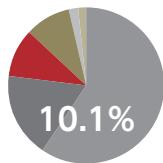
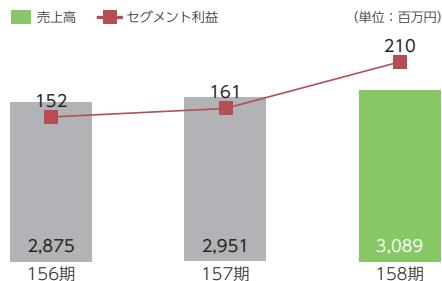


ホテル事業部門

売上高 **3,089**百万円
セグメント利益 **210**百万円

株式会社ホテル新潟は、宿泊、宴会、レストランの各部門で好調を維持し、前期比で増収増益となりました。また、株式会社ホテル大佐渡は、主に台風の影響等による宿泊客の減少や減価償却費の増加等により、前期比で減収減益となりました。

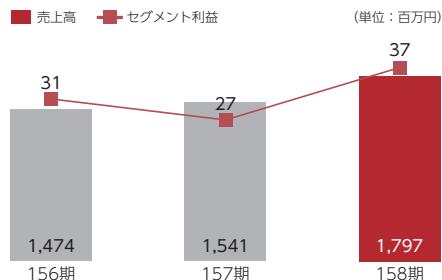
この結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、30億8千9百万円（前期比4.7%の増収）、セグメント利益は2億1千万円（前期比30.7%の増益）となりました。

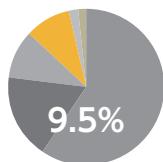


商品販売部門

売上高 **1,797**百万円
セグメント利益 **37**百万円

作業用品等の一般商品販売、住宅資材等の貿易代行は低調に推移しましたが、セメントを中心とした建設資材の販売が堅調に推移しました。この結果、同部門の売上高は17億9千7百万円（前期比16.6%の増収）、セグメント利益は3千7百万円（前期比35.6%の増益）となりました。



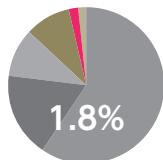
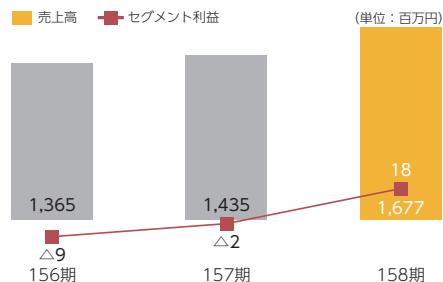


機 械 販 売 部 門

売上高 **1,677百万円** セグメント利益 **18百万円**

建設機械の販売は、大型機械の販売案件が増加し、前期比で大きく増収となりました。また、整備関係につきましては、自動車整備は前期並みの収入でしたが、建設機械関連の整備が部品販売も含めて前期比で増収となりました。

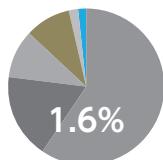
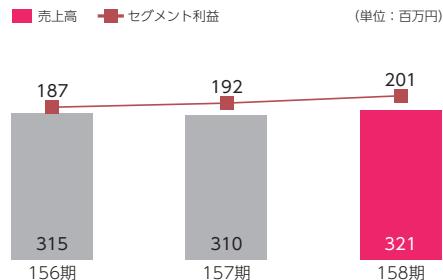
この結果、同部門の売上高は16億7千7百万円（前期比16.9%の増収）、セグメント利益は1千8百万円（前期は2百万円の損失）と収益の改善が図られました。



不 動 産 部 門

売上高 **321百万円** セグメント利益 **201百万円**

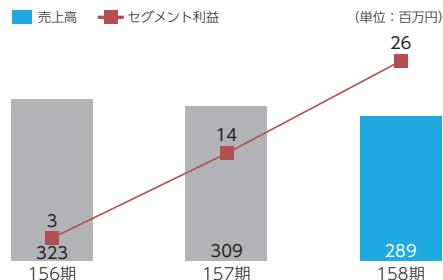
商品土地の販売や新規の土地賃貸契約の増加が増収に寄与し、同部門の売上高は3億2千1百万円（前期比3.7%の増収）、セグメント利益は2億1百万円（前期比4.6%の増益）となりました。



そ の 他

売上高 **289百万円** セグメント利益 **26百万円**

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、2億8千9百万円（前期比6.5%の減収）、セグメント利益は2千6百万円（前期比86.9%の増益）となりました。



- 円グラフはセグメント別売上高の割合を示すものです。
- セグメント売上高は、各セグメント間の内部売上高または振替高を含み、それらの合計は1億1千8百万円であります。各セグメント間の取引は、市場実勢価格に基づいており、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第158期 2019年3月31日現在	第157期 2018年3月31日現在	前期比 (%)	増減
(資産の部)				
流動資産	4,615	4,207	109.7	408
固定資産	33,075	31,613	104.6	1,462
有形固定資産	29,964	28,044	106.8	1,920
無形固定資産	108	96	112.5	12
投資その他の資産	3,002	3,472	86.5	△ 470
繰延資産	－	1	0.0	△ 1
資産合計	37,691	35,822	105.2	1,869
(負債の部)				
流動負債	9,770	8,509	114.8	1,261
固定負債	12,910	12,272	105.2	638
負債合計	22,681	20,781	109.1	1,900
(純資産の部)				
株主資本	5,480	4,990	109.8	490
資本金	1,950	1,950	100.0	－
資本剰余金	809	809	100.0	－
利益剰余金	2,728	2,237	121.9	491
自己株式	△ 7	△ 7	100.0	－
その他の包括利益累計額	9,529	10,050	94.8	△ 521
純資産合計	15,010	15,040	99.8	△ 30
負債純資産合計	37,691	35,822	105.2	1,869

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第158期	第157期
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	17,625	16,151
売上原価	15,465	14,351
売上総利益	2,159	1,799
販売費及び一般管理費	1,372	1,343
営業利益	787	455
営業外収益	94	89
営業外費用	87	94
経常利益	794	450
特別利益	9	142
特別損失	48	219
税金等調整前当期純利益	754	373
法人税、住民税及び事業税	165	56
過年度法人税等	—	—
法人税等調整額	22	△ 127
当期純利益	567	445
親会社株主に帰属する当期純利益	567	445

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

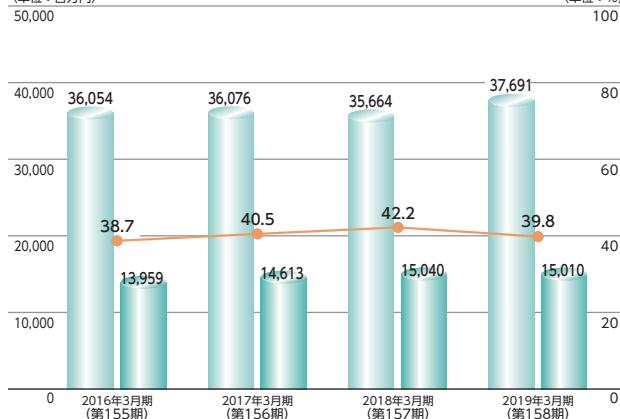
科 目	第158期	第157期	増減
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,483	1,235	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,461	△ 116	△ 1,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	385	△ 994	1,379
現金及び現金同等物の増減額	408	123	285
現金及び現金同等物の期首残高	536	413	123
現金及び現金同等物の期末残高	944	536	408

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

● 総資産 ● 純資産 ● 自己資本比率

(単位：百万円)

(単位：%)



〔「税効果会計に係る会計基準」の一部改正〕(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当期の期首から適用しており、前期の総資産および自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

● 1株あたり純資産 ● 1株あたり当期純利益

(単位：円)



2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。過年度の数値については、年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

新潟東港エリアに倉庫を建設しています

2019年3月、新潟東港エリアに化学製品等を保有する大規模倉庫「リンコーコーポレーション 東港ケミカルセンター1号」(東港支社隣接地、聖籠町東港三丁目)が竣工いたしました。「東港ケミカルセンター1号」は、床面積982.80㎡を有し、新潟県内の港周辺では類をみない大型危険品取扱倉庫となっております。

また、同エリアにおいて、一般倉庫2棟(床面積計23,604㎡)を建設中であり、2019年8月末に竣工予定となっております。

倉庫の保管能力を増強し取扱貨物の増量を図ることで、収益力の向上に努めるとともに、新潟港の益々の発展に貢献できるよう努めて参ります。

■ 危険品倉庫

所在地：新潟県北蒲原郡聖籠町東港3丁目353-1 他8筆

名称：東港ケミカルセンター1号

床面積：982.80㎡

主要構造：鉄骨造/平屋建

2019年2月末完成、3月稼働済



東港ケミカルセンター1号(外観)



東港ケミカルセンター1号(内観)

■ 一般倉庫

所在地：新潟県北蒲原郡聖籠町東港3丁目353-9 他3筆
名称：ターミナル8号（高床）、9号（低床）・・・合わせて1棟
ターミナル10号（高床）・・・・・・・・・・・・・・1棟
床面積：23,604.00㎡
主要構造：鉄骨造／平屋建
完成予定：2019年8月末完成予定



一般倉庫完成予想図



倉庫建設エリア



2019年5月25日現在の様子（正面）

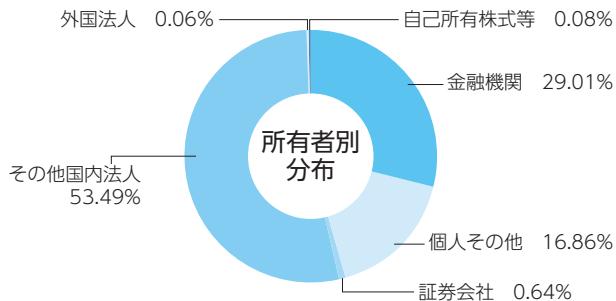


2019年5月25日現在の様子（西北側）

株式の状況

■ 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	9,600千株
発行済株式の総数	2,700千株
株主数	852名

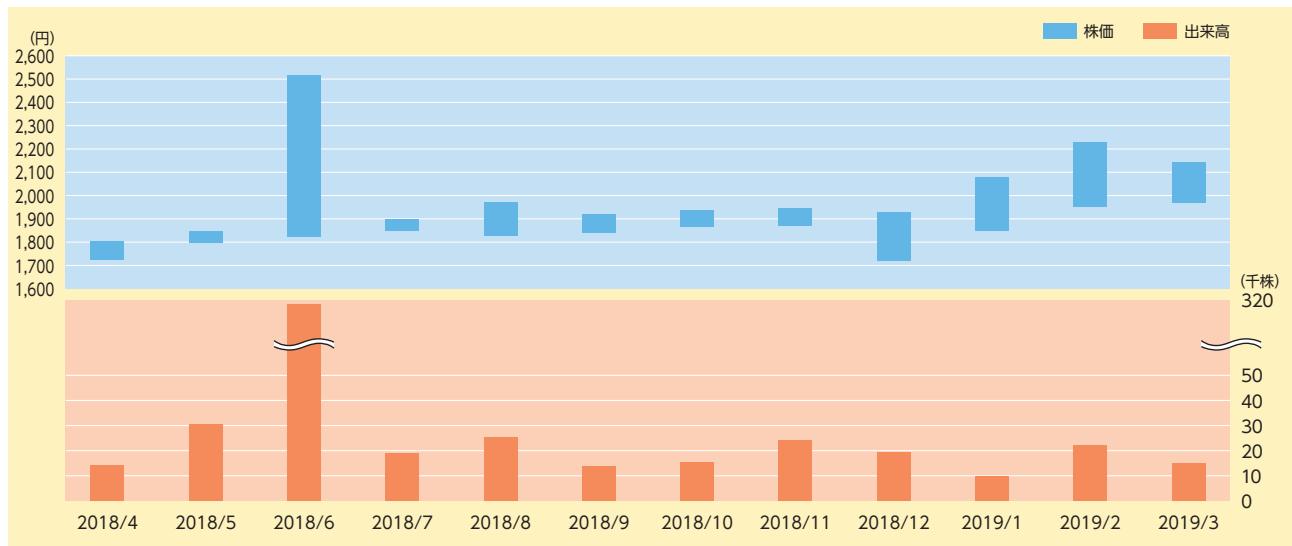


■ 大株主 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
川崎汽船株式会社	653,900	24.2
三井住友海上火災保険株式会社	137,500	5.1
株式会社みずほ銀行	134,600	5.0
みずほ信託銀行株式会社	134,600	5.0
株式会社第四銀行	134,500	5.0
公益財団法人福田育英会	120,600	4.5
JFEスチール株式会社	116,800	4.3
川崎重工業株式会社	108,500	4.0
住友生命保険相互会社	94,500	3.5
日本海曳船株式会社	71,700	2.7

(注) 出資比率は自己株式 (2,394株) を控除して計算しております。

■ 株価、出来高の推移 (2018年4月~2019年3月)



会社の概要

■ 会社概要

(2019年3月31日現在)

商号 株式会社リンコーコーポレーション

資本金 19億5千万円

創立 明治38年11月(西暦1905年)

従業員数 366名

事業の内容

1. 港湾運送事業
2. 通関業
3. 貨物自動車運送事業
4. 貨物利用運送事業
5. 倉庫業
6. 船舶碇繋場業
7. 海上運送事業
8. 航空運送代理店業
9. 不動産の所有、売買、貸借、仲介および管理
10. 各種自動車・建設機械・機械式駐車設備・昇降機・天井クレーン・コンプレッサーなど各種機械および同部品・付属品の販売ならびに賃貸、自動車分解整備事業
11. 産業廃棄物処理業および産業廃棄物、一般廃棄物の再生処理業
12. 損害保険・自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業
13. ホテル経営
14. 物品の売買およびリース業
15. 前各号に附帯関連する事業

■ 事業所の所在地

(2019年4月1日現在)

本社 新潟市中央区万代五丁目11番30号

☎ (025) 245-4113

東京支社 東京都港区芝公園一丁目8番21号 芝公園リッジビル4階

☎ (03) 3438-1433

東港支社 新潟県北蒲原郡聖籠町東港三丁目170番地16

☎ (025) 256-4120

東港コンテナターミナル事務所 新潟市北区横土居3228番地2 新潟東港コンテナターミナル管理棟3階

☎ (025) 388-1011

臨港支店 新潟市東区臨港町二丁目4914番地380

☎ (025) 274-5181

直江津支店 新潟県上越市港町一丁目9番1号 佐渡汽船ターミナルビル3階

☎ (025) 543-4207

海外連絡事務所 中国・上海

■ 役員

(2019年6月26日現在)

代表取締役社長	南波秀憲	取締役	堀敦夫
取締役	中野尚栄	取締役	桐生和男
取締役	鶴巻雅人	常任監査役	山下和男
取締役	坂牧克記	監査役	奥村一郎
取締役	前山英人	監査役	河部香
取締役	樋口幹夫	監査役	伊藤敬幹
取締役	本間常悌	執行役員	廣井敏裕
取締役	朝倉次郎	執行役員	信田拓志

※取締役 朝倉次郎氏、堀敦夫氏及び桐生和男氏は社外取締役であります。監査役 奥村一郎氏、河部香氏及び伊藤敬幹氏は社外監査役であります。

■ 連結子会社 (2019年4月1日現在)

●株式会社ホテル新潟

〒950-8531 新潟市中央区万代5丁目11番20号 ☎025(245)3331 FAX 025(243)0493 主な事業内容 ホテル・結婚式場・レストランの経営

●株式会社ホテル大佐渡

〒952-1583 佐渡市相川鹿伏288番地2 ☎0259(74)3300 FAX 0259(74)3219 主な事業内容 ホテル・結婚式場・レストランの経営

●新光港運株式会社

〒950-0041 新潟市東区臨港町2丁目4914番地380(株)リンコーコーポレーション臨港支店2階内) ☎025(274)7366(代表) FAX 025(274)7390

主な事業内容 港湾運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業

●リンコー運輸株式会社

〒950-0031 新潟市東区船江町1丁目6番33号 ☎025(274)7541 FAX 025(271)6109 主な事業内容 貨物自動車運送事業

●丸肥運送倉庫株式会社

〒950-3102 新潟市北区島見町芝田2434-48 ☎025(255)3535 FAX 025(255)3540 主な事業内容 港湾運送事業、貨物自動車運送事業、倉庫業

●株式会社ワイ・エス・トレーディング

〒231-0811 横浜市中区本牧ふ頭1番地 ☎045(621)6661 FAX 045(621)6655 主な事業内容 港湾運送事業、通関業

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、本誌では記載しきれない様々な情報をご覧いただけます。
詳細なIRに関する情報は「IR情報」にてご確認ください。ぜひ、ご利用ください。

トップページ <https://www.rinko.co.jp/>



ホテルご案内 当社が新潟県内で運営しておりますホテルのHPリンクがございます。ビジネスや観光でお越しの際はぜひご利用ください。

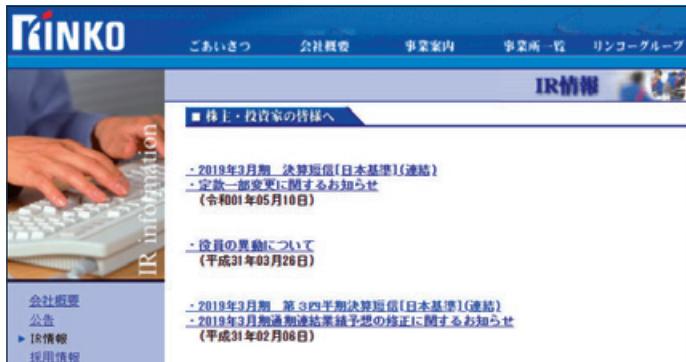
<https://www.rinko.co.jp/guide/hotel/index.html>



IR情報

決算短信、過去の事業報告書、有価証券報告書がご覧いただけます。

<https://www.rinko.co.jp/profile/ir/index.html>



株式についてのご案内

定時株主総会	毎年6月（基準日3月31日）
単元株式数	100株 ※単元株式数は、2017年10月1日を効力発生日として1,000株から100株に変更いたしました。
公告掲載方法	当社のホームページ（ https://www.rinko.co.jp/kessan ）に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、新聞（新潟日報）に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店（トラストラウンジではお取扱できません ので、ご了承ください）
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行 本店および全国各支店（トラストラウンジではお取扱できませんので、ご了承ください） みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

RINKO

株式会社 リンコー コーポレーション

